本物力こそ桑名力

市長定例記者会見

令和7年11月25日

桑名市

市議会定例会[12月]

提出議案の概要について

本物力こそ桑名力

令和7年12月定例会の主な議案

本物力こそ桑名力

補正予算の規模

［人件費関係］
補正額（一般会計6号・特別会計ほか）

一般会計	2億4,366万9千円
特別会計・企業会計	4,488万1千円
総　計	2億8,855万円

［事業費補正予算］
補正額（一般会計7号・特別会計ほか）

一般会計	10億5,453万1千円
特別会計・企業会計	2億4,100万2千円
総　計	12億9,553万3千円

補正予算の概要

「一般会計補正6号ほか」
・人事院勧告に基づく給与等への対応のほか人事異動等に対応する人件費の整理等
「一般会計補正7号」
・ジュニアサミット開催10周年を記念し、この間の桑名市の歩みを振り返る
シンポジウム等の開催
・令和8年4月多度学園の開校に伴い、廃校となる多度地区の各校で歌い継がれてきた「校歌」を後世に残すことをメインテーマとした映像制作

ほか

条例の改正等

◎財産の無償譲渡及び無償貸付けについて
令和7年度末に廃校となる桑名市立多度北小学校について、地域における有効活用を図るため、校舎等を無償で譲渡し、学校敷地を無償で貸し付ける契約を締結することについて、議会の議決を求めるもの。

その他の発表事項

本物力こそ桑名力

本物力こそ桑名力

MaaSの推進について

1. 自動運転レベル4の取得を目指します
2. 公共ライドシェアで「のるーと」を運行します

自動運転レベル4の取得を目指します

本物力こそ桑名力

レベル4相当の機能を備えた**自動運転の車両を購入**し、公道で定常運行を開始するための許認可取得に必要となるデータ取得を行います。

購入車両

株式会社ティアフォー製「Minibus」
（小型バスタイプの自動運転EVバス）

バスタイプの自動運転車両の
購入は**県内初**

公道走行

- **令和7年12月19日**
  11:00～　出発式（ナガシマスパーランド）
  14:00～　伊勢市との連携事業（三重交通本社）
- **令和7年12月22日～12月26日**
  関係者および一般試乗

走行ルート

長島駅～なばなの里～ナガシマスパーランド
（片道約12.5km）

Minibus

自動運転レベル4の取得を目指します

本物力こそ桑名力

事業の実施にあたっては関連企業が数多く参画し、それぞれの強みを活かしながら持続可能な自動運転移動サービスの事業モデルを構築

事業実施体制

企業名等	主な役割
桑名市役所	事業全体の企画、進捗管理、成果測定等
三重交通株式会社	自動運転車両の遠隔監視、車両運行管理等
長島観光開発株式会社	レベル4自動運転移動サービスの検討、実証フィールドの提供
アイサンテクノロジー株式会社	自動運転実証実験運営、高精度三次元地図の提供
A-Drive株式会社	自動運転車両販売等
株式会社ティアフォー	自動運転に関わる技術支援
損害保険ジャパン株式会社	保険の提供
KDDI株式会社	通信調査、通信環境構築等
三菱商事株式会社	MaaS施策連携・社会実装検討
三菱電機株式会社	運行管制システムに関する情報提供

自動運転レベル4の取得を目指します

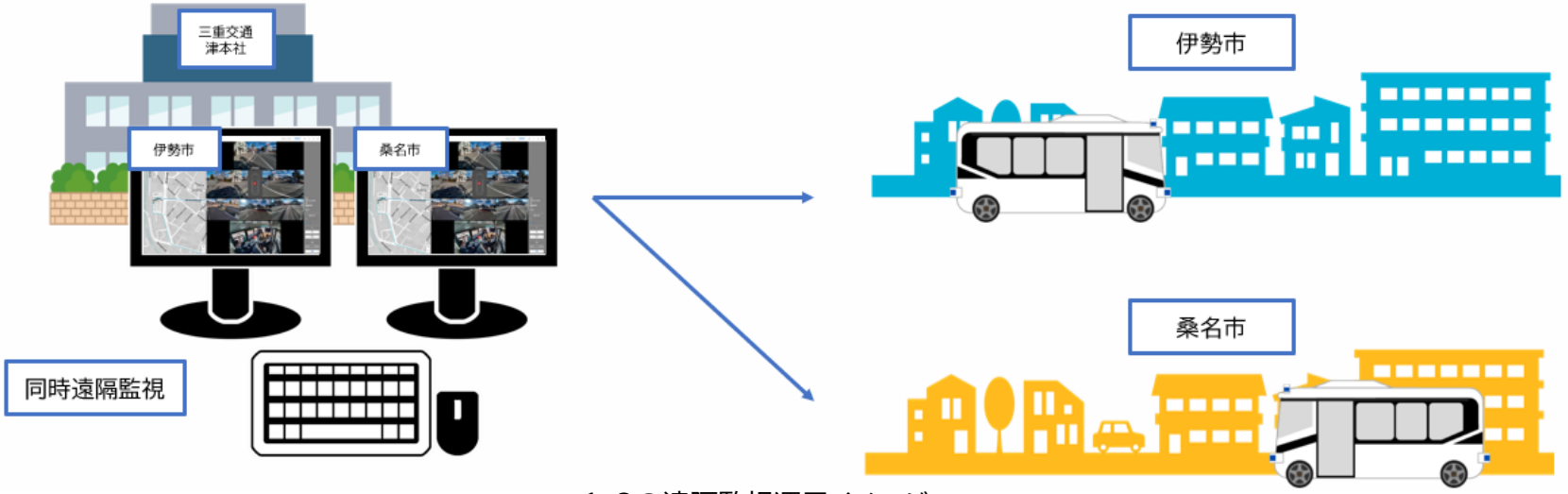
本物力こそ桑名力

自動運転の効率化を目指し、**伊勢市と連携し、県内では初となる広域的な遠隔監視の実証実験を実施します。**

1:2の遠隔監視

自動運転サービスの運用効率向上のため、伊勢市の自動運転事業と連携し、三重交通による複数拠点の遠隔監視実証を行い、運用面の課題を抽出する。

- **実施日時**　令和7年12月19日(金)14:00～
- **実施場所**　三重交通株式会社本社
- **実施内容**　桑名市、伊勢市で走行する自動運転を同時に遠隔から監視する



1:2の遠隔監視運用イメージ

自動運転レベル4の取得を目指します

本物力こそ桑名力

令和7年度は、国土交通省の「地域公共交通確保維持改善事業費補助金」に加え、内閣府の「新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）も活用します

国交省補助事業

■自動運転車両の購入

レベル4自動運転に必要となる機能を備えた車両を購入する。

・定員：23名（座席15名、運転席1名、立席7名）
　　※実証実験時は座席のみ使用
・速度：最高速度70km/h※実証実験時は35km/hで運行

内閣府補助事業

■レベル4自動運転の技術実証

自動運転車両による公道走行を実施し、課題を抽出する。これにより、次年度以降の許認可取得に向けたデータを蓄積する。

・ルート：長島駅～なばなの里～ナガシマスパーランド
・走行距離：片道約12.5km
・自動運転レベル：レベル2

公共ライドシェアで「のるーと」を運行します

本物力こそ桑名力

多度エリアにおける「のるーと桑名」の実証実験について、**公共ライドシェアの制度を活用**した形態にて実験を行うことで、運行上の課題等について研究します

実施概要

多度エリアにおける「のるーと桑名」の実証実験について、将来的に運転手不足が加速することを想定し、国・県も導入を推進する**ライドシェアの仕組みを活用した運行について検討を行う。**

実施期間・日数

- 令和7年12月1日(月)～3月21日(土)
  ※日曜、年末年始は運休
- 平日71日、土・祝19日の計90日間の運行

運行エリア

桑名市多度町を中心としたエリア

タクシー車両ではなく一般車両を使用

車両に貼るマグネット

公共ライドシェア

- 道路運送法第78条第2号の認可を受け、タクシー事業者による「事業者協力型」の運行を実施
- 運行する車両はタクシー(緑ナンバー)ではなく、一般車両(白ナンバー)を使用する

まずは法的な枠組みとしてライドシェアの認可を取得した形で運行し、**持続可能な交通体系を構築するための運用上の課題整理を行う**

本物力こそ桑名力

女性のウェルビーイング推進宣言
～プレコンセプションケア編～

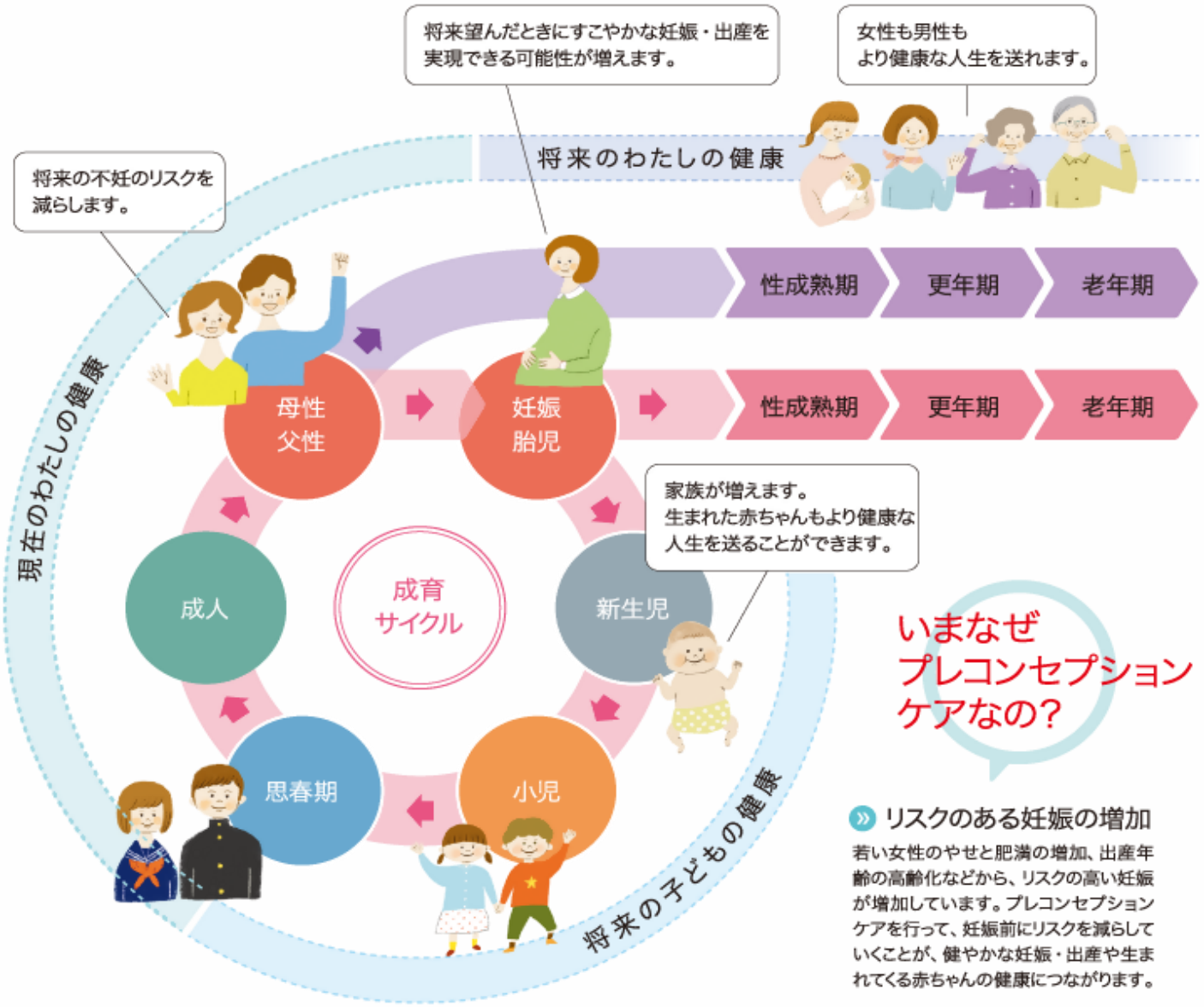
「プレコンセプションケア」、略して「プレコン」。

県内初！
インフルエンサーの
活用による
プレコンセプションケア
啓発事業

性別を問わず、適切な時期に、
性や健康に関する正しい知識を持ち、

妊娠・出産を含めたライフデザイン（将来設計）や

将来の健康を考えて健康管理を行う取り組み。



いまなぜプレコンセプションケアなの？

リスクのある妊娠の増加

若い女性のやせと肥満の増加、出産年齢の高齢化などから、リスクの高い妊娠が増加しています。プレコンセプションケアを行って、妊娠前にリスクを減らしていくことが、健やかな妊娠・出産や生まれてくる赤ちゃんの健康につながります。

不妊の増加

「生理不順を放置していた」「生理痛をがまんしていた」などが将来の不妊の原因となることがあります。妊娠や出産に関する正しい知識を得て行動し、将来の不妊のリスクを減らしましょう。

人生100年時代を生きるために

子どもを持つ選択をするかしないかにかかわらず、プレコンセプションケアを実施することで、より豊かな人生につながるでしょう。

国立成育医療研究センターHPより

こどもまんなか
こども家庭庁

プレコンセプションケア推進5か年計画（概要）

～性と健康に関する正しい知識の普及と相談支援の充実に向けて～

背景と経緯

- 「成育医療等基本方針(令和５年３月改定)」にプレコンセプションケアの推進についての方針が定められたほか、「経済財政運営と改革の基本方針2024」に「**相談支援等を受けられるケア体制の構築等プレコンセプションケアについて５か年戦略を策定した上で着実に推進する**」旨が盛り込まれた。
- 若い世代が自分の将来を展望する際に、性や健康・妊娠に関する正しい知識の取得方法や、相談する場所・手段について、必ずしも広く知られていない現状を踏まえ、「**プレコンセプションケアの提供のあり方に関する検討会　～性と健康に関する正しい知識の普及に向けて～**（座長：五十嵐隆国立成育医療研究センター理事長）」において、プレコンセプションケアに係る課題と対応について整理を行い、「**プレコンセプションケア推進5か年計画**」を策定。

プレコンセプションケアの概念及び現状・課題とその対応にあたっての基本的な考え方

1．プレコンセプションケアに関する概念の普及

- プレコンセプションケアは「**性別を問わず、適切な時期に、性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザイン（将来設計）や将来の健康を考えて健康管理を行う**」概念であるが、言葉自体や概念についての認知度は低い。
- 思春期から成人期に至るまで、性別を問わず**全ての人が、発達段階や状況に応じてプレコンセプションケアという概念を知り、それに関する知識について、適切に身につけることは重要。**

2．プレコンセプションケアに関する相談支援体制の充実

- プレコンセプションケアに関する相談先として、自治体における「性と健康の相談センター」等があるが、広く知られていない現状がある。
- 若い世代の方が、**より相談しやすくなるような体制づくりが必要。**

3．専門的な相談支援体制の強化

- 基礎疾患のある女性が、説明を受けないまま、妊娠する方がいる実情や、かかりつけ医等と産婦人科医の連携が不十分という指摘も。
- **産婦人科以外の医師もプレコンセプションケアに関して十分な知識を持つ**とともに、かかりつけ医等と産婦人科医の必要な連携に資する情報提供資材が必要である。

今後５年間の集中的な取組

〈目標〉
認知度　80%
プレコンサポーター
5万人以上

性や健康に関する正しい知識の普及と情報提供

★SNS等を活用した積極的な情報発信。
★プレコンセプションケアの普及に係る人材（プレコンサポーター）を育成するとともに、啓発資材の作成等、自治体・企業・教育機関等における講演会等の開催支援。

〈目標〉
相談窓口認知度
100%

相談支援の充実（一般相談）

★「性と健康の相談センター」等プレコンセプションケアに関する一般的な相談ができる窓口の認知を推進。
★身近な地域において医療機関等も含め、専門家による相談支援体制の整備を図る。
★夜間休日対応の実施や、電話・オンライン相談、メールやSNSの活用等、相談者の利便性に配慮。

〈目標〉
専門相談医療機関数
200以上

相談支援の充実（専門相談）

★基礎疾患を有する方等が、医療機関等でプレコンセプションケアに関する相談ができるよう、全国に相談窓口を展開するとともに、専門外の医師の適切な対応にも資するよう、医療者用相談対応マニュアルを作成し、周知。

取組推進にあたって

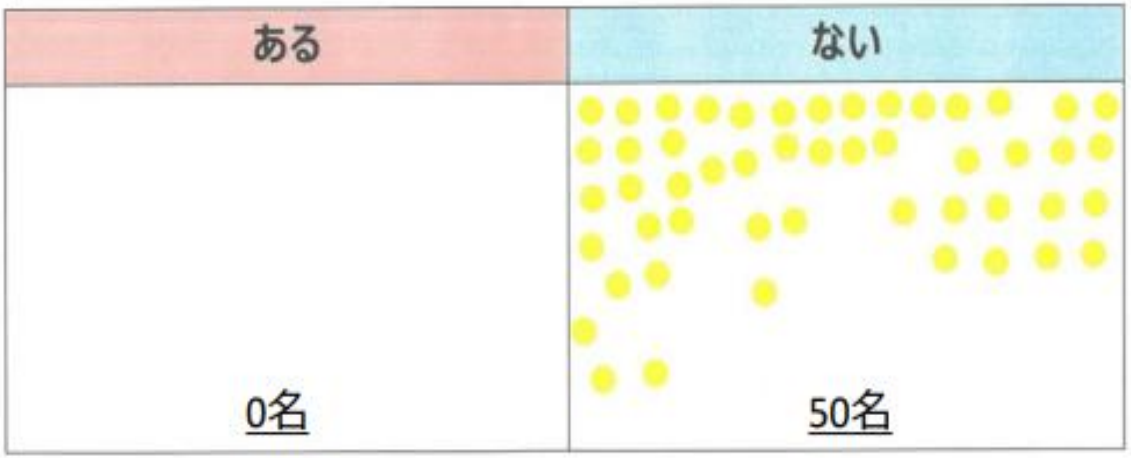
- プレコンセプションケアの推進にあたっては、**若い世代の意見を聴き**、当事者のニーズに沿った取組を実施し**施策の効果を定期的に評価**。
- 国は、国立成育医療研究センターと連携し技術的に支援、自治体は国の「５か年計画」を参考に「**地方版推進計画**」を策定する等計画的に推進。

こども家庭庁

プレコンセプションケアの認知度について

「プレコンセプションケア」（通称「プレコン」）聞いたことがありますか？

Q.あてはまる方にシールを貼付ください



都内大学
男女50名
に面前調査

プレコンセプションケア（通称「プレコン」）
男女問わず性や妊娠に関する正しい知識を持ち、いまも、
そしてこれからも、健康に過ごせるための取り組みのこと

こども家庭庁成育局母子保健課
「プレコンセプションケアに関する大学生への意識調査」より

Z世代の代弁者インフルエンサーによる プレコンセプションケア啓発を開始します！

県内初！

その1

ひかりんちょ さん
（インフルエンサー/YouTuber）

2003年生まれ、静岡県出身。
“Z世代の代弁者”として、メンタルヘルスや政治など様々な分野でリアルな意見を発信中。
10代から絶大な支持を得ており、SNS総フォロワー数は160万人超える。
書籍「ありのままの私を受け入れずに批判する奴には、心の中で中指立てればいい」など2冊刊行。
自動車メーカー「ダイハツ工業」をはじめ、企業の宣伝プロデュース業も行っている。

とき：令和7年12月22日(月)
11:00～
ところ：桑名西高校
出演者：金美希先生（桑名市総合医療センター産婦人科医長）
ひかりんちょさん
ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ：松岡典子さん
（(NPO)MCサポートセンター みっくみえ代表・助産師）

①プレコンの概要説明
②お医者さんとの対談イベント
③ルナルナのご紹介

高校生の性と健康についての悩みに、お医者さんがお答えします！

Z世代の代弁者インフルエンサーによる プレコンセプションケア啓発を開始します！

これも県内初！

その2

ひかりんちょ さん
（インフルエンサー/YouTuber）

2003年生まれ、静岡県出身。
“Z世代の代弁者”として、メンタルヘルスや政治など様々な分野でリアルな意見を発信中。
10代から絶大な支持を得ており、SNS総フォロワー数は160万人超える。
書籍「ありのままの私を受け入れずに批判する奴には、心の中で中指立てればいい」など2冊刊行。
自動車メーカー「ダイハツ工業」をはじめ、企業の宣伝プロデュース業も行っている。

②ひかりんちょさん制作
TikTokの配信！
（桑名市オリジナル！！）

TikTokフォロワー数101万人のひかりんちょさんにより、プレコンセプションケア啓発コンテンツを配信していただきます！

本物力こそ桑名力

令和7年度桑名市市政功労表彰

令和7年度桑名市市政功労表彰

本物力こそ桑名力

○第10回 桑名市市政功労被表彰

前 （一財）日本遺族会常務理事

現 桑名市遺族会会長、（一財）三重県遺族会会長、（一財）日本遺族会相談役

伊藤　早苗　様

●桑名市遺族会会長としての功績

昭和43年4月に桑名市遺族会に入会して以降、戦没者の顕彰と慰霊、戦没者遺族の援護と福祉の向上のために積極的に活動を行う。その後、青年部長、副会長を歴任し、平成7年4月の会長就任以降も遺族会活動の推進に尽力されるとともに、遺族会による市内の戦没者の慰霊碑周辺の清掃活動を通じた社会貢献にもリーダーシップを発揮されるなど、昭和・平成・令和の3時代57年間にわたる遺族会会員及び会長としての功績は多大である。

●三重県遺族会会長としての功績

桑名市遺族会の活動と並行して、昭和55年6月から三重県遺族会としての活動にも携わられ、令和元年6月からは県遺族会会長として、平和祈念に関する取り組みに精励される。特に、沖縄県営平和祈念公園内にある「三重の塔」において毎年行われている慰霊式は、昭和53年から県遺族会の主催により行われ、令和3年からの県主催での開催に道筋をつけるなど、長年にわたる戦争の記憶の継承への功績は多大である。

●日本遺族会常務理事としての功績

昭和59年4月からは、日本遺族会の事業にも携わられ、本年3月まで常務理事として、海外での遺骨収集や慰霊巡拝に尽力されたほか、国の「平和の語り部」事業の語り部として、戦争の悲惨さや平和の尊さを語り継ぐ活動を続けられる。また、本年4月からは、日本遺族会の相談役として、後進の指導及び育成に当たられており、本市における平和への取組への功績は多大である。

○表彰式：令和7年12月8日（月）午前9時30分から市長室にて

東海3県初！

本物力こそ桑名力

桑名市・桑名商工会議所・アクサ生命保険株式会社との健康経営の普及促進及び健康増進に関する連携協定

桑名市
KUWANA CITY

桑名商工会議所

AXA アクサ生命

連携協定締結式

本物力こそ桑名力

日 時　令和7年　11月　25日(火)　※ 記者会見終了後

場 所　桑名市役所　3階 第2会議室

桑名市内企業への健康経営の普及を図ることで、市民や市内で働く方々の健康増進と健康寿命の延伸及び地域経済の持続的発展を目指す。